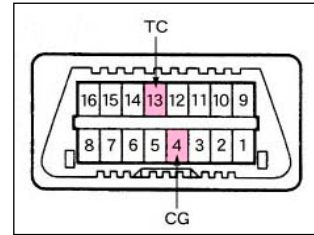


# ハンディ・ポンプを使用したブレーキフルード交換作業

小型ハンディポンプを使用したブレーキフルード交換作業の手順です。

## ＜注意＞

- ・ブレーキフルードの交換作業であり、エア抜き作業ではありません。
- ・作業前にダイアグノーシスコードが正常コードを出力する事を確認する。
- ・作業後にダイアグノーシスコードが異常コードを出力する時は異常コードを消去する。  
消去作業: バッテリーを外しても消去できません。(重要部位の故障は点灯したままになる)  
**診断コネクタTCとCGを短絡して、IG・ONでブレーキ・ペダルを5秒間に8回以上踏むと消去される。**
- ・IG・OFFでドアを閉めて、3分以上放置する。  
**ABS リレーがカシャと OFF して、ポンプがキューンと一瞬回転してスリープ状態になる。ドアを開ける、又はブレーキング操作を行うと起動状態となる。**

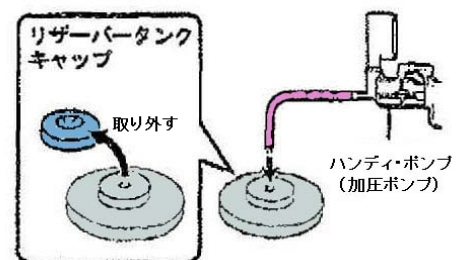


## 対象車種一覧

車名	型式及び年式	ポンプによる作業
エスティマハイブリッド	AHR10W系 (2001/6～2003/6) H13	交換作業不可
	AHR10W系 (2003/7～2006/5) H15	
	AHR20W系 (2006/6～ )	
プリウス	NHW20系 (2003/9～)	交換作業可能 (ECB2のシステムが同じ型式を採用している)
アルファードハイブリッド	ATH10W系 (2003/7～)	
ハリアーハイブリッド	MHU38W (2005/3～)	
クルーガーハイブリッド	MHU28W (2005/3～)	
クラウンマジェスタ	UZS186系 (2004/7～)	
GS	UZS、URS190系 (2005/7～)	
GSハイブリッド	GWS191系 (2006/3～)	
LS	USF40系 (2006/9～)	
LSハイブリッド	UVF45, 46系 (2007/4～)	

## 交換手順

1. ブレーキフルード補充する。
2. 準備したリザーバタンクキャップを取り付ける。
3. ハンディポンプで加圧する。(0.8Kg/cm<sup>2</sup>以下)
4. ブリーダプラグを弛めてブレーキフルードを抜く。
5. 各ホイールのブレーキフルードを交換する。



# ラジエータ・キャップテスターを改造して加圧ポンプにした例





自転車の空気入れを  
加圧ポンプに利用